

NPO法人 ふろんていあタウン工房

ふろたん通信



2017年11月28日 広報センター

No. 23

「会員拡大活動」から「協力・連携ネットワークづくり」へという見出しで、「目的を共有できるNPO等団体との協力・連携のネットワークづくり」を新年度の重点目標と呼びかけたのが、2014年12月発行の「ふろたん通信」NO.6、あれからもう3年が経ちました。

今まで築いてきた協力・連携ネットワークをさらに深め、多くの団体との連携による企画・活動を徐々に増やしていこうと考えています。

2018年のふろたん工房 は次のステップを目指して進みます。

1. ミンガラバー・ユネスコクラブから二つの案内

その1. 「スタディツアー2018」

- 2/09 全日空・成田発 11:00→ヤンゴン着 16:30
- 2/10 ヤンゴン→レグー→バゴー市内観光
- 2/11 バゴーで寺子屋訪問
- 2/12 バゴー→チャイティヨーでゴールデンロック観光
- 2/13 チャイティヨー→ヤンゴン郊外観光
(連合軍墓地・KALAYWA 僧院)
- 2/14 ヤンゴン市内観光 全日空・ヤンゴン発 22:10
- 2/15 成田着 6:45



ゴールデンロック

このスタディツアーのメインは、バゴー・チャイティヨー・ヤンゴンです。今回はバガンには訪れないのでピクトリア山まで足を延ばす訳にはいきませんが、ふろたん工房のツアーとは雰囲気少し違ったユネスコツアーの貴重が体験できるかもしれません。企画旅行社はいつもと同じピースインツアーです。興味を持たれた方はご連絡ください。詳しい資料をお渡しします。

※「ふろたんスタディツアー2017」(4/21~30)の参加メンバー藤田が写してきたゴールデンロックの写真を載せました

その2. ユネスコ・カフェ「ミャンマーの農村の生活」～村の生業と組織～



2018年1月28日(日) 13:30~15:30、阿佐谷地域区民センター第1集会室(JR阿佐ヶ谷駅南口徒歩2分)で開催。

参加費500円 ※申し込み不要直接会場へ。

講師は、第7回ふろたんインタビュー「ミャンマーの時の流れを想う」に登場いただいた岡本郁子さん(東洋大学国際学部教授)です。ぜひご参加ください!

2. みなみ野自然塾の地域活動

1996年UR都市機構が都市基盤整備公団だった時代に里山体験活動としてスタートした「みなみ野自然塾」、その後も八王子市公園アダプト制度での9.24日 緑の“片倉つどいの森”フェスティバル地域活動を続けています。当初からの広報担当の中核メンバー永尾東さんを訪ねて9月のフェスティバルには、森下・宮本・室井が参加しました。

「ふろたん工房」のホームページで、今は準備中になっている協力・連携ネットワークの団体の紹介コーナーを2018年度にはスタートさせたいと思います。

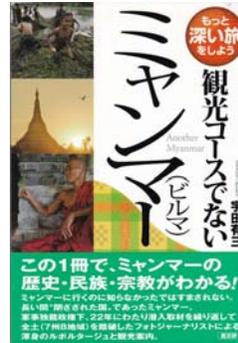
家族で、仲間で、一日楽しめるイベントいっぱい

- A 葉っぱで楽しもう ~スタンプアート~
講師 野島直美 & 植物ガイド 藤原重行 (午前・午後 各24組)
- B 昆虫さがしツアー (午前・午後 各20組)
- C フォトツアー (午前・午後 各20組)
- D 片倉城跡公園と広園寺と秋の花ガイドツアー
ガイド 野木幸 (午後 15組)
- E ハーブを楽しもう ~匂い袋とハーブティー~ (午前・午後 各50組)
- F 市制100周年記念運風100枚 (午前・午後)
- G UR 八王子みなみ野シティ開発物語」コーナー

つどいの森 フォトコンテスト 9/16~10/10 ネットで募集

3. ふろたんインタビュー(第8回)《びるまの竖琴》で『ビルマの竖琴』

毎月「ふろたん工房」の情報交換会をしている「びるまの竖琴」で、9月27日に行ったインタビュー。「ビルマの竖琴」の本をテーブルに並べ店主のモーココさんと、ふろたん工房発足時からの団体賛助会員・昭和株の林茂雄さんに、時代を遡った“昭和の記憶”などいろいろな話を伺いました。



■ふろたん推薦本「観光コースでないミャンマー」

「もっと深い旅をしよう」。ミャンマーを深く知るのにタメになる本の紹介です。観光コースでないシリーズはマジメな出版社「高文研」の本だけに、ただのガイドブックではありません。帯に書かれているとおり、この1冊で歴史・民族・宗教がわかる。軍政の時代から20年以上にわたってビルマ全土を歩いたフォトジャーナリストの宇田有三さんが2年前に出版した本です。マスメディアが最近何かと話題にするミャンマー。今だから読んでおきたい本です。

■事務局だより

12月の「山木会」(毎月第3木曜日開催)は21日です。どなたでも気軽にご参加ください。(於:「びるまの竖琴」渋谷区恵比寿2-8-13 7Fビル1F) **いつでも新規の会員募集中!**